

発 言 通 告 書

発言者氏名	伊藤順一
発言の会議	平成31年 2月28日 本会議
発言の種類	質疑、一般質問、緊急質問、討論、その他
質疑等の方式	一括、一問一答
答弁を求める者	市長、上下水道局長、消防局長、教育長

【件名及び発言の要旨】

1 (仮称) 中央こども園の整備について

- (1) (仮称) 中央こども園の整備予定地である職員厚生会館の老朽化に対する見解及び同地で長く運営するための展望について
- (2) 職員厚生会館の移転においては勤労福祉会館だけではなく、ほかの公共施設との分散も検討する必要性について

2 経済対策と観光立市策について

(1) 定期船事業について

- ア 平成18年に終了した大分港との定期船事業を踏まえた定期船事業のあるべき姿に対する見解について
- イ 定期船事業による横須賀経済のポテンシャルを生かした稼ぐ力の向上に向けた今後の取り組みについて

(2) 中心市街地の活性化について

- ア さいか屋大通り館の跡地利用に対する見解及び平成31年度の対応について

イ 昨年実施された歩行者天国を中央大通りと市役所前公園との間の2つの大通りまで広げる考えの有無、また広げる場合に考えられる新しい課題について

(3) 空き店舗対策について

ア 市が空き店舗を借り、起業する人材に一定期間貸し付けを行う方策の必要性について

(4) 外国人材の拡大について

ア 市役所の窓口や医療・保育・救急を含め、外国人が生活する上での課題の対応方法について

イ 行政に求められている日本語教育や技術研修に対する支援、住居整備や家賃補助といった対応に対する市長の見解について

ウ 外国人住民が増加すると予想され、日本語対応に限界がある中での本市の対策について

エ 地域社会における多文化共生に対する取り組みについて

(5) 観光立市への取り組みについて

ア 実効性のあるフィルムコミッション事業の体制づくりについて

イ オリジナル自動販売機の開発・設置について

(6) 歴史や文化を生かしたにぎわいづくりについて

ア 横須賀の歴史の中での三浦一族の存在に対する見解について

イ 地域特性や地域資源を活用する取り組みを着実に実現していくための方策について

ウ 衣笠山公園が名実ともに日本さくら名所100選にふさわしい公園に再生し、地域経済にインパクトを与える観光スポットになるための取り組みについて

エ 衣笠山公園の観光資源を生かし、より魅力的な公園として整備していくために出された同公園を訪れる方々からの要望に

対する対応について

- オ ルートミュージアムの整備において衣笠・久里浜地区の地域運営協議会などと協議し、市民と協働した取り組みを検討する必要性について
- カ 久里浜地区から浦賀地区に渡る「海のルート」の可能性も視野に入れた観光の開発について

3 地域コミュニティについて

(1) 地域社会の再生について

- ア 明るく元気な挨拶の励行こそ「あいさつ運動」の広がりによって大事との考え方に対する市長の見解について
- イ 各町内会・自治会への「あいさつゾーン」の設置促進及びその環境づくりのための支援に対する市長の見解について
- ウ スクールコミュニティのモデル地区での意見交換において提起された課題内容及びその対応方法の検討状況について
- エ 行政センター管内でそれぞれ地域性が異なる点を踏まえ、モデル地区を新たに複数選定する必要性について
- オ 市内全域の小学校地区へのスクールコミュニティの設置に要する期間、方法及び展開の方策について
- カ スクールコミュニティにより地域全体で子どもたちの成長を見守る体制づくりを進めるために必要な取り組みについて
- キ 市職員を対象に開催した町内会・自治会の役員となるための講習会の効果及びより実効性のある講習会とするための方策について
- ク 地域活動に参加した市職員に対して特別休暇制度などの制度設計を検討する必要性について

(2) 安全・安心のまちづくりについて

- ア 自主防災組織を設立していない町内会・自治会がいまだにあること、自主防災組織があっても防災訓練を実施できない組織

があること、また例年、市内各地域の防災訓練参加者が全市民の1割前後であるという現状に対する市長の見解について

イ 地域による実効性のある防災訓練実施に向けて必要となる行政の支援及び助言に対する市長及び消防局長の見解について

ウ 総務省消防庁の「消防力の整備指針」で示されている消防職員定数に対し大きく不足している本市の状況に対する市長の見解について

エ 働き方改革の面から同整備指針で示す定数と現在の消防職員の定数が大きく乖離していることに対する消防局長の見解について

オ 患者搬送事業における平成29年の市民の利用状況及び課題について

カ 頻回利用者対策による指導を検討する必要性について

(3) 空き家対策について

ア 倒壊のおそれがある危険な空き家の所有者及び管理者が、市からの助言や指導に対して不誠意な対応を続ける場合に、市がスピード感をもって特定空き家と認定し、行政代執行を行う必要性について

イ いわゆる「ごみ屋敷」化している空き家も点在している中で、スピード感のある対応をするために関係条例を一つにまとめる必要性について

(4) 安全歩行の環境づくりについて

ア 歩行者のマナー低下に対応した「ながらスマホなどやめよう条例」策定に向けた市長の見解について

4 教育環境の充実について

(1) 防災教育の強化について

ア 東日本大震災8年経過後の本市防災教育の基本的な考え方

と実施内容の変更点について

イ 防災教育の一環として地域の防災訓練に子どもたちが積極的に参加する環境をつくっていくための方策について

ウ あんしんかん閉館後における実効性のある防災教育への対応に対する教育長の見解について

(2) いじめの解消について

ア 国のいじめの定義が周知されたことにより、いじめの認知件数が大きく増加したことに対する教育長の見解について

イ いじめ認知後の考え方及び具体的な対応策について

(3) 不登校問題について

ア 楽しいはずの学校生活を送れない子どもたちをより少なくするための対応について

(4) モンスターペアレント対策について

ア モンスターペアレントによる過度な要求や要望等に対し警察に相談すべきとの考え方に対する教育長の見解について

イ モンスターペアレントに対応するための各教員が持つ「教師力」を高めるために実施している方策について

5 水道事業の安定的運営について

(1) 本市が25年間水道料金を改定せずに維持できた経営努力以外の要因及び本市と水源を同じくする県内の他の水道事業体における料金改定の期間について

(2) 水道料金の合理的な改定期間、適正な基本水量及び料金改定を検討するための体制について